

会報

シルバーなわて

第30号

発行所

公益社団法人
四條畷市シルバー人材センター
会報シルバーなわて編集委員会
委員長 岡田 繁雄

〒575-0053
四條畷市大字中野 897 番地の 17
電話 072 - 879 - 7788
FAX 072 - 877 - 9293
nawatesc@wonder.ocn.ne.jp
http://www.nawatesc.or.jp



目次

平成 27 年度定時総会	2	シルバーふれあい農園	5
ご挨拶 理事長	2	就業実績及び会員状況	6
平成 27 年・28 年度役員	3	配分金支払予定日	6
表彰者	3	同好会々員募集	6
高齢者自転車・原付安全運転講習会	3	会報編集委員会からお願い	6
安全適正就業強化月間	4	編集後記	6
事故防止	4		

平成27年度 定時総会

6月3日(水)午後2時から四條畷市立市民総合体育館(サン・アリーナ25)多目的室において、会員総数488名のうち、出席者数147名、委任状による出席者210名、計357名で開催されました。

最初に藤井清司理事長が開会の挨拶を行い、その後会員18名が表彰され、藤井理事長から表彰状と記念品が授与されました。

次に、ご来賓の四條畷市長土井一憲様をはじめ、四條畷市議会議長瓜生昭代様、大阪府議会議員橋本和昌様、大阪府議会議員内海久子様からご祝辞をいただき、連合大阪大四地区協議会議長吉田一矢様のご臨席を賜りました。引き続き、議長、議事録署名人の選出を行い、総会議事に入り、報告事項、第1号議案、第2号議案までの審議がなされ全議事が満場一致で可決承認されました。その後、新役員による理事会が開催され、開催中に、大阪府警四條畷警察署から講師をお招きし、『交通安全講習会』を開催し、最後に新役員代表として、藤井清司理事長が就任の挨拶を行い、森本昌明副理事長の閉会のことばをもって、総会は無事終了致しました。

ご挨拶

理事長 藤井 清司



公益社団法人四條畷市シルバー人材センター平成二十七年定時総会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

初めに、当シルバー人材センターの定時総会開催に当たり、公私何かとお忙しいところご臨席賜りました、ご来賓の皆様には厚くお礼申し上げます。

また、会員の皆様にはお忙しい中ご出席頂き誠にありがとうございます。

さて、我が国においては、一段と高齢化社会が進む中で、高齢者が今まで培ってきた知識や経験を基に、就業及びボランティア活動などを通じて自らの生きがいの充実や社会参加をすることで、社会との繋がりを持つことが益々重要となつてきています。シルバー人材センターでは、そうした高齢者が、臨時的かつ短期的な就業を通じて社会参加することで、健康の維持や地域社会に貢献することが大きな役割となつていきます。

このような状況の中、当センターにおいては、平成26年度事業実績では、受注件数、

事業実績、会員数のいずれも前年度を僅かながら下回る残念な結果となりました。

全国のシルバー人材センターの活動目標である重点課題と位置づけられた「就業機会の拡大」及び「会員の拡大」並びに「一般労働者派遣事業」の推進を図るため四條畷市長のご協力をいただき、今年秋に本店予定のイオンモール四條畷店に対し、特に就業機会の拡大に繋がる会員の就業場所を確保して頂くようお願いしたところです。

今後とも重点課題達成のために、役員はもとより会員の皆様にも企業や個人家庭への営業活動の実施並びに会員拡大の普及啓発活動にご協力いただき、シルバー人材センターの基盤拡大に努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

一方、全国のシルバー人材センターにおいて就業中のケガや就業場所へ行く途上においての傷害事故並びに賠償事故が多発している状況が続いています。当センターにおいては、傷害事故が5件で昨年に比べ5件減りましたが、賠償事故が7件で昨年からは2件の増となり、全体では3件の減少となりましたが、今年は会員の皆様と共に事故のないシルバー人材センターを目指したいと考えています。

本日総会の最後には、四條畷警察署から講師をお招きし安全講習会を開催いたしましたので、皆様方には、聴講をして頂き事故が無いよう仕事に励んで頂きたいと思っております。

最後になりましたが、会員並びに役職員が一体となりシルバー人材センターの基本理念であります、自主・自立・共働・共助を合い言葉に、事業運営に努めてまいりる所存でございますので、皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。

結びに当たり、本日ご臨席賜りましたご来賓の皆様、またご出席頂きました会員の皆様方の今後益々のご健勝、ご多幸を祈念致しまして誠に簡単ではありますが、私の挨拶とさせていただきます。

平成27年・28年度役員

理事 藤井 清司
 副理事 森本 昌明
 常務理事 湯元 洋司
 理事 木田 和弘
 理事 木原 一文
 理事 篠田 實一
 理事 竹内 碧
 理事 谷口 夫
 理事 堀江 文子
 理事 吉田 一
 理事 中川 明
 理事 松井 雄

表彰者

会員表彰者18名
 10年以上在籍し、かつ事業の発展に大きく貢献された方々(敬称略)

- | | | |
|--------|-------|------|
| 堂下信行 | 三野涌子 | 安定敬子 |
| 矢持仁志 | 松野桂子 | 羽柴一馬 |
| 橋本和子 | 堀切夕マノ | 米谷善夫 |
| 坪井香代子 | 田之畑耕造 | 中辻信子 |
| 久米敏弘 | 鈴木敏子 | 西村哲也 |
| 下柿元キヨ子 | 笹田富士子 | 川井哉枝 |

役員表彰者1名
 5年以上就任し、かつ事業の発展に大きく貢献された方(敬称略)
岡田繁雄



高齢者自転車 原付安全運転講習会

安全委員会

春の交通安全週間に合わせて、高齢者原付安全運転講習会を5月16日に、高齢者自転車安全運転講習会を5月19日に阪奈自動車教習所、四條畷市、大東市、四條畷警察のご協力により開催いたしました。

当センターからは12名の方が参加し、自転車では阪奈自動車教習所が今年初めて導入した自転車運転シミュレーションで色々な危険な場面を安全に体験していただきました。その後、昨今ニュース等で取り上げられています道交法の再確認などを実際に自転車で乗って教習所内を走って行いました。



自転車運転シミュレーション

原付安全運転講習会では、二段階右折など、原付独特の道交法を確認し実践していただきました。また、バスや大型トラックの死角や、大型車両特有の事故事例を教習所の方が実際に運転して紹介していただきました。

長年乗っていると慣れで運転しがちですが、これを機会に安全意識を高めていただけたと思います。

また、秋の交通安全週間にも開催を予定しております、その際には参加していただけるようよろしくお願いいたします。



原付安全運転講習会の様子

安全 適正就業強化月間

安全就業推進員

7月は安全・適正就業強化月間と定められており、安全・適正就業対策の一層の推進を図ることと致します。

今年6月から全国で自転車の取り締まりが強化されております。右側走行や、飲酒運転、遮断踏切立ち入り、歩行者妨害、指定場所の一時不停止など、14項目の危険行為が定められております。これらの行為をして2回以上の検挙、又は事故を起こした場合、自転車運転者講習の受講、受講に従わない場合は5万円以下の罰金となります。右側走行や一時不停止は、ついつい何気なくやってしまっている違反だと思えます。全国でも自転車の事故が増え、その中でも自転車が加害者になっている事を踏まえての取り締まり強化ですので、会員の皆様も交通安全・安全就業を意識して就業して下さい。

7月は事故の多い月なので、先でも書いてるとおり、全国のシルバーも安全・適正就業強化月間にしており、当センターも同様にパトロールなど行っています。

また、これから熱中症にも気をつけなければならぬ時期にもなりますので、早めにこまめに水分補給と塩分糖分補給をお願い致します。そして、気分が悪い時は我慢せず、すぐに作業を中断してください。

しつこいようですが、自分の身は自分で守るのだと、日頃から体調管理・安全運転・安全就業をしっかりとやって参りましょう。



「見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験」

事故防止

石原日出男

事故はまさに生き地獄である、事故の軽重によっては当事者一家路頭に迷うことがある。

今日は、私の身近にあった事故の実例二例挙げ、今後の事故防止の参考にしていただきたい。

「その1」

以前、私の勤めていた会社では、社員が家庭内のもめ事を心に抱いたまま出勤するものだから、そのもめ事が気になって、会

社の作業現場では、仕事に身が入らず、思わぬミスをして、事故が絶えなかった。

会社は、この事故を事故原因の一例として挙げ、「明るい家庭に事故はないと判断して」社員宅へ次のような文書を郵送した。

その内容は、「家庭の方は、どのような些細なもめ事があっても、社員が出勤するときには、笑顔で送り出してほしい」といったものであった。

作業に従事する時は、心身ともに晴れ晴れとした気分で働くと、事故は皆無とは言わないが、多少は減るといふ思いがあった。

私は、最初は会社が私生活にまで介入することに不愉快に感じていたが、事故の恐ろしさを知るにつけ、事故防止のためには止むを得ない処置だったと、今でも思っている。

「その2」

隣人のA(60)さんは、左官の職人である、高層ビルの壁を塗っている。

ある雨上がりの日、水溜りがあった、跳び越そうとして滑って怪我をした、運悪く両手に左官道具を持っていたので体の自由がきかなかつた、気の緩みがあった、老人であることをすっかり忘れていた。

Aさんの会社は危険が伴う職場だから事故に対する就業規則は厳しかった、本人の

不注意による事故は一切保証はしなかった、Aさんは、泣き泣き自己負担で二週間通院加療をした、その間、会社は休んだ。

血も涙もない冷酷な会社だと思っただろうが、社会一般の常識である。

さて、「シルバー」の事故対策、処理はどうか、私が広報誌で知る限りでは、作業員の事故は、「シルバー」が全面的に負担、「作業員に甘い」処置であると思っっている。

「シルバー」が老人の作業員をいたわる気持ちはわかるが、作業員の重大な過失による事故は事故者がそれ相当の負担は当然である。

人間社会は生きものである、好むと好まざるに拘わらずあらゆる事故と付き合っていかなければならない。

事故は軽くみてはいけませんが、深刻に考えると気が重い、事故は事故として受け止め、今後の事故防止に役立てればよい。

人生は80年時代である、事故を起こしたといつていつまでも、くよくよ悩み悲しむ事はない、嫌な事はさっさと忘れ、気分一新して前向きに生きることである。

「言うは易く行うは難し」であるが、そのように努力するのがよい。

シルバーふれあい農園

今年度から当センターにおいて農園事業を始める事になりました。場所は、上田原地区で、現在会員4名の会員で農作物の栽培などの活動を行っています。

隔日ですが、センターの入り口付近で採れたての野菜を販売していますので、よろしければ購入して下さい。また、会員の皆様が農作業に興味のある方、参加してみませんか。

お問い合わせは、シルバー事務局まで



就業実績及び会員状況 平成26年度(平成26年4月~平成27年3月)						
	受注件数	就業延人員	契約金額	会員数	就業実人員	期間就業率
今年度	2,254 件	56,570 人日	242,050,826 円	481 人	439 人	91.3%
前年対比	2.6%	4.6%	0.7%	1.6%	2.4%	0.8%

配分金支払い予定日 明細書は20日以降に取りに来て下さい!						
6月分	平成27年 7月27日(月)		7月分	平成27年 8月25日(火)		
8月分	平成27年 9月25日(金)		9月分	平成27年10月26日(月)		
10月分	平成27年11月25日(水)		11月分	平成27年12月25日(金)		

同好会々員募集

入会を希望される方は各代表まで連絡してください。

なわてウォーク
代表 篠田 實
879-5347

手芸友の会
代表 吉井 貞子
878-5311

毛筆同好会
代表 宮西 正隆
876-2465

パソコン同好会
代表 岡田 繁雄
877-1073

会報編集委員会からお願

会報でコミュニケーションが取れれば
と思い作っておりますが原稿がなく頭を
悩ましています。

そこで**更**にお願いですが、どんなこ
とでもかまいません。

次のような内容で原稿用紙1枚か2枚程
度をお寄せ下さい。

イ 会員として、働く喜び、生きがいなど
の自己体験等

ロ 同好会、旅行等

ハ 随筆、短歌、俳句、川柳等

ニ 趣味の園芸、写真等

ホ その他、

次回、会報の発行は28年1月です。

原稿の締切りは**12月16日**迄にシルバー
人材センター事務所までお寄せ下さいませ
ようお願いします。

なお、紙面の関係で内容が変わらない
範囲で訂正する場合がありますのでご了承
承願します。

編集後記

小学校、新一年生も、2か月も経つと新
しい友達ができて、楽しみに通学していま
す。

これも、「シルバー子供まもり隊」が通学
路に立ち、犯罪や交通事故防止のために努
めていることも一因であると信じています。
ご苦労さんです

夏本番になりました。

作業に汗を流す「シルバー」の皆さん私た
ちは体が資本です。何をしても無理は禁
物です。適度に休憩しながら就業しましよ
う。

編集委員一同